

2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

ふり 氏 がな 名	やぎ ひろゆき 八木 寛之
(研究テーマ名) 大阪都心地域における商店街活動に関する都市社会学的研究	
(研究活動実績) ・博士論文の執筆 今年度は、上記テーマを主題とする博士論文の執筆に向けて、文学研究科社会学教室内で実施された2回の論文報告会(7月、11月)において中間報告を行った。 ・フィールドワーク、調査 博士論文の執筆に向けて、昨年度までと同様に、大阪市浪速区「新世界」地域での調査を継続的に実施した。またこれに加えて今年度は、大阪市西成区北東部の「動物園前一番街」「飛田本通商店街」「萩之茶屋商店街」の商店会関係者、自営業者への聞き取り調査を実施した。ここでは、来年度以降の本格的なフィールド調査に向けた予備的調査として位置づけ、同地域と商店街の成り立ちおよび現状の把握につとめた。 ・研究会への参加 今年度より、在阪の都市社会学・地域社会学者(15名程度)を中心に立ち上げられた、「大都市都心研究会」に参加し、都心地域の構造的変容と地域コミュニティに関する研究活動を行っている。ここでは共同研究者として、大阪市内の商店街組織の実態把握を目的としたアンケート調査票を作成するなど、来年度の本格的な量的調査の実施に向けて準備作業・予備的調査を行った。またこの他に同研究会内では、全国5大都市(札幌・東京・名古屋・大阪・福岡)における人口の「都心回帰」の実態把握を目的として、2000年・2010年国勢調査の人口移動(5年前の常住地)のデータ分析を行った。 (研究会での報告活動) 八木寛之「国勢調査データによる5大都市の前住地分析:都心区を中心に」 大都市都心研究会(第5回)、2014年3月2日、於:同志社大学 —2013年度~2016年度(予定)科学研究費補助金[基盤研究 B]「都心回帰」時代の大都市都心における地域コミュニティの限界化と再生に関する研究(研究代表者 鯉坂学)の一環として報告	